

# 2017年度 第1回 日本カプセル内視鏡学会代議員会 議事録

日時：2017年2月19日（日）13:25～13:55

会場：名古屋国際会議場 3号館3階 国際会議室 （第2会場）

最初に、田尻理事長より代議員総数102名のうち、出席65名、委任状提出25名で本会が成立すると述べられ、開始にあたり、第10回会長 福田眞作理事よりご挨拶が述べられた。

## <審議事項>

1. 平成28年度（2015年12月～2016年11月） 決算報告 （加藤理事）  
加藤理事より、平成28年度決算報告を代議員資料に基づき説明した。榊監事より、監査報告の結果、適正な会計処理が行われたと報告され、承認された。
2. 平成29年度（2016年12月～2017年11月） 予算案 （加藤理事）  
加藤理事より、平成29年度（2016年12月～2017年11月）修正予算案について、代議員委員会資料に基づき説明され、承認された。
3. 第12回および第13回 JACE 学術集会会長選任について （田尻理事長）  
第12回 田中信治理事（開催地：佐賀（グランデはがくれ））を理事会として推薦されたことが報告され、承認された。  
第13回 緒方晴彦理事を理事会として推薦されたことが報告され、承認された。  
また、開催年が2020年、オリンピック開催年となることから、開催地についても、理事会としては緒方晴彦理事にお願いすることとしたことが報告され、承認された。
4. 新理事の選出について  
加藤 智弘（東京慈恵会医科大学大学院消化器内科学 教授、  
同附属病院総合健診・予防医学センター センター長） 推薦者 田尻 久雄  
について、承認された。
5. 正会員（理事・代議員）の年会費の値上げについて  
本学会事業はサポートする会社が限られており財務的な改善に向けて、理事、評議員の年会費を、会費7,000円から10,000円に上げることが提案され、承認された。

## <報告事項>

### 1. 各委員会報告

#### ◆ 総務委員会：（高橋理事）

##### <JACE 会員状況、eラーニング利用状況>

- ・高橋理事より、会員状況およびeラーニング利用状況について報告された。  
会員状況：学会員1247名、準学会員582名、賛助会員2件  
eラーニング利用状況：小腸169、大腸107、合計276
- ・年会費の滞納状況について改善されてきていることが報告された。

◆ 読影トレーニング委員会：(中村理事)

<小腸用・大腸用カプセルセミナーについて>

- ・小腸カプセル内視鏡セミナー（新規資格取得者対象）について  
2017年7月30日（日）13：30～17：00、募集人数50名、  
責任者に勝木伸一委員、講師に富樫一智委員、佐川保委員、藤田朋紀委員に決定したことが報告された。
- ・大腸カプセル内視鏡セミナー（新規資格取得者対象）について、  
2017年1月15日（日）に開催され、募集人数50名に対して、降雪の影響により実際の参加者が21名であったことが報告された。  
2018年1月28日（日）10：00～17：00、募集人数50名、  
会場：東京慈恵医大、責任者に加藤智弘委員、講師に東京大学 山田篤生委員、名古屋大学 中村正直委員が決定し、角川康夫委員、渡部宏嗣委員のどちらかの先生がご担当予定であることが報告された。  
本日学術集会中にも開催され、小腸は午前中終了したことが報告され、大腸は14：00から開催、当日受講も可能であることが案内された。

◆ 認定制度委員会：（福田理事）

<CE研修認定申請者>

- ・31名の申請があり、認定制度委員会による審査が行われ、一部症例の差替え等を経て、全員合格したことが報告された。
- ・新規の認定医、指導医、指導施設について、1月から申請受付開始しており、締切は3月末日であることが報告された。

◆ 認定技師委員会：(松井理事)

<認定状況>

- ・2014年度から2016年度に認定支援技師資格取得者の合計が、小腸、大腸あわせて、およそ340名になることが確認され、第1回取得者の更新について90%以上が更新されたことが報告された。

◆ 学術委員会：

<データベース作成委員会について（大宮理事）>

- ・坂本理事の厚労科研を研究費ベースに、小腸出血に対するデータベースを作成し、  
2010年～2013年まで入力したものを解析している。症例数の最も多かった名古屋大学、東京大学、日本医科大学が論文を担当、進捗状況について報告された。

<パテンシーカプセル多施設共同研究について（松井理事）>

- ・1,000名以上が登録され、成果について中間報告が行われたこと、さらに2,600名の資料が追加され、現在も鋭意解析中であり、論文化を進めていることが報告された。

<「大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究」（大宮理事）>

- ・現在までのエントリー数の報告と、エントリーの協力が依頼された。
- ・田尻理事長より、大腸カプセル内視鏡の適応拡大のため、重ねて協力が依頼された。

◆ 情報委員会：(後藤理事)

＜ニュースレター Vol.12 (2017年1月発行予定) について＞

- ・後藤理事がランチョンセミナーの司会のため、田尻理事長より、次回の発行予定は5月であることが報告された。

◆ 保険委員会：(樋口理事)

＜保険委員会の新委員＞

- ・田尻理事長より、一部、委員の先生が変更されたことが報告された。

2. JGA (第13回) /JACE (第10回) /JFSS 合同学術集会 (JGW) について (福田理事)

- ・福田理事より今回の学会について用意したクイズへの参加が呼びかけられた。

3. JGA (第14回) /JACE (第11回) /JFSS 合同学術集会 (JGW) について (樋口理事)

- ・樋口理事より第11回日本カプセル内視鏡学会学術集会について  
2018年2月10日(土) 11日(日) 会長は大阪医大 樋口和秀理事、会場は東京、京王プラザホテルであることが報告された。

4. 『大腸カプセル内視鏡の適応拡大』の内保連第一次提案書について (大宮理事)

- ・大宮理事より大腸カプセル内視鏡検査は保険適応が限定されているため、大腸がん検診陽性者の患者さんでも気軽に受けられるように、内保連への提案書を提出したことが報告された。

5. 外保連加盟について (田尻理事長)

- ・田尻理事長より大腸カプセル内視鏡の適応拡大のため、外保連からも要請があり、外保連に加盟することが、理事会で決定され申請中であり、正式な承認は3月に開催される外保連総会で決議される予定であることが報告された。

6. 平成28年度 第1回内保連・外保連合同内視鏡委員会 (大宮理事)

- ・大宮理事より代議員資料に基づき、平成29年1月13日に開催された第1回内保連・外保連合同内視鏡学会について報告された。
- ・カプセル内視鏡は、検査試案で取り扱われ、平成29年2月27日に第1回検査委員会が開催されることが報告された。

7. その他

- ・第12回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長 田中信治理事よりご挨拶をいただいた。
- ・第13回日本カプセル内視鏡学会学術集会 会長 緒方晴彦理事よりご挨拶をいただいた。

最後に、寺野彰名誉理事長よりご挨拶をいただき、定刻にて田尻理事長より閉会の辞が述べられた。

以上